

## 悟りを開く

「大きな変革」は坐禅の見性体験（悟りを開く）を言い換えたものです。

では見性体験とはどのようなものでしょうか。

少し聞きなれに言葉が出てくるかもしれませんがご辛抱ください。

**奈良時代の空海**の体験について少しのべてみます。

空海は山を修行場にしながら、20才頃に虚空蔵菩薩求問持聡明法（こくうぞうぼさつぐもんじそうめいほう）という修行法をしていました。四国の太龍岳というところで**見性体験**しました。そのとき風がないのにはるか下の谷風の音を聞いたと書きのこしています。

**江戸時代の白隠さん**は、寺で修行している時、遠くの山寺でつく鐘の音を聞いて、見性体験されて、先生や周りの人にたずねました。しかし誰も知らなかったので「数百年来で一番大きな悟りを得た」と思い違いされました。それほど大きな変化が起こります。

昭和の時代の悟った人**苧坂光龍氏**は十牛図で見性体験の後の視覚や聴覚が鋭くなった様子を書きのこしています。（坐禅入門 山本龍善著）

悟った人・**松下幸之助氏**は「私の考え方、行き方」という本で「・・・一辺の悟りを開きえた・・・」と書かれています。そして大きく変革されました。

「1、2、3」を実践すれば悟りを開けます。